

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	19
2. 大学等名	金沢大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	人間社会学域 理工学域
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(400文字)
<p>学生の主体性を涵養するカリキュラム・教育方法・学修支援環境の改革と統合を目的に、学士課程の専門教育を対象に3つの施策：（1）学域・学類の中核をなす科目群へのアクティブ・ラーニングの導入促進、（2）アクティブ・ラーニングに適した学修環境の設計・整備及び（3）学修過程・成果の可視化による学修評価の定量的評価（IR）に取り組む。具体的には5年間の取組みにより、アクティブ・ラーニングの取組みを収集・検証・普及するための授業カタログの整備及びFDリーダーの養成を通じた授業改善サイクル、アクティブ・ラーニング・アドバイザー（ALA）の養成と新たに整備したワークショップ教室等でのグループ学修支援、多面的な教育学修評価指標の開発と学修ポートフォリオ／カルテによる学生支援と全学的な学習支援・学生支援の方針（バックアップ・ポリシー）を策定する。これらによって、事業終了後の継続的な教育開発・学修開発を統合的に推進する。</p>	